

「この夏の終わりに」

記入者：ラプタハイブン



我が家も稲刈りを終えて新米が食卓に登場するのを待っている。収穫前に雨が続いたので、予想よりは5日ほど遅れての稲刈りだった。今年はクモヘリカメムシの発生が若干少なく感じた。早く味噌汁と新米の黄金コンビを朝食に迎えたい。寛治が書いていた味噌汁バトルの裏の顔（表の顔？）、そんなこと全く知らなかった。寛治は以前はシャイだった。あの日の寛治はもう居なくなってしまうと、今では初対面の人と話している姿でさえ、昔からの友人と喋っているように見えることがある。

「あの人誰やったっけ？伊勢の人？」「知らん。今日はじめて会った人」

川喜田厚さんという絵本作家と絵本を共同制作した。9月19日、久居アルスプラザで開催予定の彼の個展で晴れてリリースとなる。「おおきなものがすきなおうさま」という本で、僕が文を書いた。厚さんは、絵の具とヘラを使った独自の技法で絵を作ってくれた。2週間に1回ぐらい、ファミレスで打ち合わせするのが楽しかった。今回の絵本は文が先にあって、文をもとに絵が作られていった。先に文を書いた僕は気楽な身分で、厚さんの仕事を眺めていることが多かった。上手に絵を描けないので、絵が描けて、ページごとに独自の世界を作っていく厚さんは本当にすごいと思った。

昨年に出したソロ作、「ヤオヤドンパチハッピークヤチョウ」のPVを寛治に撮ってもらったので、近日中にアップしたい。このPVは狂っていて、ただでさえ遅いKAKEHANをさらに遅い速度で撮影し、早送りでBPM35.0と一致させている。口の動きはBPM35.0なのに、腕や体の動きはそれをはるかに上回る速度で動くという変態感満載のアクションだ。歌詞の内容にゴジ●を多用していて、PVのほうも田舎の空に金の三頭竜が舞うシーンがあって楽しい。僕が芹沢博士の潜水服を着ているシーンがあるのでこの勇姿は必ず見て欲しい。

今年の夏も長いようで短かった。ライブ・旅行・買い物は楽しめなかったけれど、家族と過ごせる時間が多かったし、図書館にこもってカリカリ勉強するのも学生に戻ったみたいで充実感があつた。まだ暑い日が続くそう。これから年末に向けてソロアルバム制作を再開する。落ち着いたらリリースパーティしたいな。

交換日記はこれで終わり。ここまで読んでいただきありがとうございました。またいつかの夏にお会いしましょう。